

2024年 5月 15日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

進展型小細胞肺癌患者の化学療法前の栄養評価指数を用いた予後予測についての検討

2. 研究責任者

海南病院 呼吸器内科 栗山満美子

3. 研究の概要

癌診療において担癌状態により惹起されうる炎症反応や低栄養状態が予後に関連すると考えられ、様々な栄養評価指数を用いた検討がされています。Glasgow prognostic score (GPS), Neutrophil to lymphocyte ratio (NLR) および Prognostic Nutrition index (PNI) は血液検査で得られた血清アルブミン値やCRP値などで算出できる簡便かつ有用な栄養指標で、様々な固形癌の予後予測因子として報告されています。しかし、小細胞肺癌におけるGPS、NLR およびPNIの有用性について報告した論文は少なく、実臨床における小細胞肺癌患者の予後とこれらの指標との関連性については十分な検討がされていません。

そこで、当院で診断、治療された進展型小細胞肺癌患者の予後と化学療法開始前のGPS、NLRおよびPNIとの関連性についての検討を主目的とした後方視的な臨床研究を行うこととなりました。具体的に対象とするのは、2009年2月から2019年12月に小細胞肺癌と臨床診断され、プラチナ併用化学療法（免疫チェックポイント阻害薬併用例を除く）を行った方です。

小細胞肺癌におけるGPS、NLR およびPNIによる予後予測は、実臨床において採血のみで可能であり、また後方視的に対象となった方の背景や治療開始前後の臨床的特徴を把握することは、研究対象者への不利益及び危険性も無く、また今後の肺癌臨床を行う際に有用な情報が得られるものと期待されます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2009年2月から2019年12月に小細胞肺癌と診断されプラチナ併用化学療法（免疫チェックポイント阻害薬併用例を除く）を行った患者さん。

② 使用する試料等

残余検体：使用しない。

カルテ情報：使用する。

カルテ情報から、治療開始時の患者背景や検査データ、および治療後の経過などを後方視的に抽出します。尚、データ収集は西暦 2024 年 5 月 9 日時点でのデータを基準とします。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 呼吸器内科 栗山満美子

電話：0567-65-2511（代表）